

平成 23 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日の間に

川崎医科大学附属川崎病院で胆道癌による肝門部胆道狭窄と診断され、

内視鏡手術を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：胆道癌による肝門部胆道狭窄に対する金属ステント留置後の reintervention ERCP の検討

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、平成 23 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属川崎病院で胆道癌による肝門部胆道狭窄と診断され、内視鏡手術を受けられた患者さんについて、ステント閉塞後の治療の効果や安全性を検討するための後方視的調査研究を実施します。

治療効果と安全性を検討することを目的としています。

研究期間は、倫理委員会承認日～平成 29 年 11 月 6 日の予定です。

治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

なお、今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究は教員研究費を用いて行う研究であり、この研究を実施する関係者には中外製薬より奨学寄附金の受け入れ及びガ德里ウス・メディカル株式会社より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係のない企業です。

研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

【問い合わせ先】

担当者：所属 総合内科学、 職名 臨床助教 氏名 谷川 朋弘

TEL：086-462-1111（内線 8119）

FAX：086-232-8343

E-mail：t-tanikawa@med.kawasaki-m.ac.jp